

別紙 1-1：選定施設について

本事業では、次の選定施設を対象に、各施設のニーズを踏まえロボットの導入実証を実施します。各施設の募集内容は、項目：別紙 1-3 を参照してください。

種別	施設名	企業・団体名	施設所在地
商業施設	ハルネ小田原	小田原市	小田原市
娯楽施設	サープラ横浜あそびタウン	株式会社サードプラネット	横浜市都筑区
文化施設	鈴廣かまぼこ博物館	鈴廣かまぼこ株式会社	小田原市

別紙 1-2：選定施設の現地見学会

導入実証の実施を予定している選定施設の現地見学会を次の日程で開催します。参加を希望される方は、事前の参加登録をお願いします（各施設の現地見学会の開催 1 営業日前の 12:00 までに事前参加登録をしてください）。

【開催日程】

施設名	ハルネ小田原
施設住所	小田原市栄町 1-1-7
開催日程	令和 6 年 11 月 14 日(木) 16:00 - 17:00
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 駐車場利用可否：専用の駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご使用ください。 ※近隣駐車場（駐車サービス提携先）のご案内：小田原駅東口駐車場（有料） https://odawara-jigyo-kyokai.jp/parking/ ◇ 写真撮影：撮影は可能ですが通行人、買物利用客にご配慮ください。

施設名	サープラ横浜あそびタウン
施設住所	横浜市都筑区中川中央 1-25-1 ノースポート・モール 6 階
開催日程	令和 6 年 11 月 13 日(水) 13:00 - 14:00
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 駐車場利用可否：有料とはなりますが利用可能です。店舗のカウンターにて 3 時間無料の処理が出来ます。 ◇ 写真撮影：あからさまにお客様を撮影しているようなことにならなければ、特に問題はありません。 ◇ その他：お客様もいらっしゃる時間帯のため、通路を遮断してしまうことがないよう配慮をお願いします。

施設名	鈴廣かまぼこ博物館
施設住所	小田原市風祭 245
開催日程	令和 6 年 11 月 14 日(木) 13:00 - 14:00

留意事項	<ul style="list-style-type: none">◇ 駐車場利用可否：無料でご利用いただけます。◇ マスク着用のお願：食品を扱っているため、施設見学中はマスク着用をお願いいたします。◇ 受け入れ人数：20名まで◇ 写真撮影：当日はかまぼこ手づくり体験教室を実施しておりますので、お客様のお顔が映らないようご配慮ください。
------	--

【事前参加登録】

施設見学会に参加を希望される方は、下記のウェブサイトから参加登録をお願いします。

https://murc-jimukyoku.smartcore.jp/knrobot_support2_visit2024

※上記サイトはロボット実装促進センター事業運営受託者（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）が管理する外部ウェブサイトになります。

※参加登録を頂いた方に、後日、施設見学会の動画あるいは画像をご提供いたします。

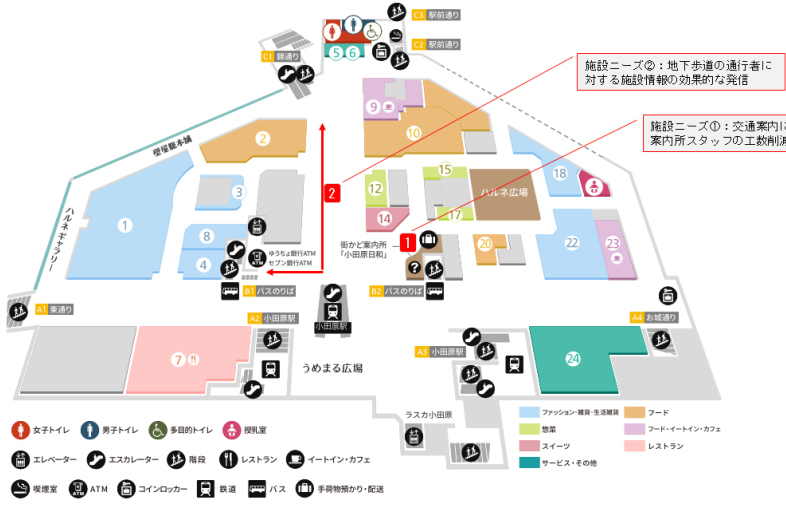
別紙 1-3 : 各選定施設の募集内容

本事業が選定した3施設の募集内容、解決を希望すること（施設側のニーズ）は以下の通りです。詳細は現地見学会や事業説明会でもご案内します。

(1)


施設名	ハルネ小田原	
所在地	小田原市栄町 1-1-7	
施設のイメージ	   	
運営団体	小田原市	
施設概要	<p>◇ 小田原駅東口にある地下街。飲食店や生活雑貨店のほか、地域情報を発信する街かど案内所やイベント・スペース（ハルネ広場、うめまる広場）などからなる商業施設。</p> <p>◇ 主要フロアである地下1階の広さは、店舗部分：約 2,013 m²、公共地下歩道部分：2,099 m²。</p>	
募集内容 (募集テーマ)	1. 交通案内に要する案内所スタッフの負担軽減と施設情報の効果的な発信	
募集テーマ 1	施設運営にあたり解決したいこと	<p>施設ニーズ①：交通案内に要する案内所スタッフの工数削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ハルネ小田原には館内インフォメーション／小田原駅周辺の観光案内／まち歩き案内／商店街インフォメーションなどの業務を担う「街かど案内所」を設置している（スタッフ：2~3名）。 ✓ コロナ禍が明け外国人観光客が急増したことにより、街かど案内所のスタッフがバスの乗り換えなどの交通案内に、1日の工数の約 1/4 を費やしている。その結果、地域情報の収集・発信など本来優先すべき業務を圧迫していることから、交通案内に要する工数の削減を図りたい。 ✓ 加えて、外国人観光客への交通案内にあたっては多言語での対応が求められることから、スタッフの心理的な負担感も増している。 ✓ 施設の営業時間外は交通案内の機能を十分提供できていないことから、案内機能の確保・拡充が必要である（施設の営業時間：朝 10:00

	<p>～夜 20:00、バスの運行時間：朝 6 時台～夜 10 時台)。</p> <p>施設ニーズ②：地下歩道の通行者に対する施設情報の効果的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ハルネ小田原は公共地下歩道にもなっていることから、毎日多くの市民が通行している。しかし、街かど案内所のスタッフが多忙のため、商業的な訴求やイベントの案内などが十分にできておらず、店舗やイベントスペースへの誘客ができていない。 ✓ トイレや店舗の場所などの定例的な問い合わせへの対応も比較的多く、案内所のスタッフが本来業務に充当する時間に影響が生じている。
現在の業務の実施形態	<p>上記①の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国人観光客に対し、案内所のスタッフがタブレット端末の翻訳サービスを用いて対応している。ただし、多様な国籍の外国人に適切に対応するため、一人当たりの対応時間は長くなりがちである。 <p>上記②の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在、街かど案内所では定例的な問い合わせ対応は実施しているが、誘客や新規顧客獲得に繋がる商業的な訴求やイベントなどの案内にかけられる時間が不足している。
目指したい施設の姿	<p>施設ニーズ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 案内ロボットを利用し、多言語による交通案内を提供することで、案内所スタッフの交通案内に要する工数を削減したい。 ✓ 交通案内業務の効率化により空いた時間で、地域情報の収集・発信や店舗やイベントへの誘客に資する活動の実施により多くの工数を投入することができるようにしたい。 ✓ 施設の営業時間外も交通案内を提供できるようになることで、観光客の利便性や施設のイメージ向上を図りたい。 <p>施設ニーズ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 案内ロボットが音声や音楽、手振りなどを通じて通行者の注目を集めるとともに、ロボットを通じて店舗やイベントの情報を発信したい。 ✓ ロボットによる情報発信を通じて、施設のブランディングやイメージアップを図りたい。 ✓ トイレや店舗案内などの定例的な問い合わせは案内ロボットが対応できるようにすることで、街かど案内所のスタッフの工数を削減し、スタッフが施設情報の発信や誘客により多くの工数を投入することができるようにしたい。
ロボットの運用に関する想定	<p>上記①の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 案内ロボットを街かど案内所の近くに配置し、スタッフとロボットが分担しながら案内業務にあたり、特に、外国人観光客にはロボットが多言語で対応する形で運用したい。 <p>上記②の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ハルネ小田原の中央通路（約 40m の距離）を案内ロボットが行き来しながら、音声や手振りで通行者の関心を惹きつけつつ、ロボットに搭載されているディスプレイで館内マップを表示するとともに、ロ

	<p>ボットを通じてオススメの商品やイベントの案内、チラシの配架などを行いたい。</p> <p>✓ ただし、混雑時には人通りを避けた指定場所での定点案内でも問題ない。</p> <p>上記①②の共通点</p> <p>✓ 本事業における実証期間では、異なるユーザーインターフェースやデザイン、機能を持つ 2 種類のロボットを並行して運用することを想定している。</p> <p>✓ ハルネ小田原の公共地下歩道が通行可能な時間帯（朝 6:00～夜 22:30）にロボットを運用したい。（※優先時間は朝 6:00～夜 20:00）</p> 
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ロボットのデザインに関しては、特定の条件はなく、上記①②を達成できるものであれば、広く提案を求める。（ディスプレイの有無、人型やキャラクターのようなデザイン等） ◇ 上記①の設置場所と②の混雑時における定点設置場所に、充電のため天井から電源を確保する増設工事を行う必要がある。 ◇ 施設内にフリーWi-Fiはあるが、一般利用と競合する場合、通信速度が遅い場合がある。各携帯キャリアの公衆回線は通じるが、専門的な調査は実施していない。 ◇ 交通・乗り換え案内や施設内の店舗等に関する情報や素材は、施設側で収集予定。ただし、ロボットを通じた効果的な案内、情報発信にあたっては、ロボット企業側の提案・協力を得たい。ただし、日々情報の更新が容易にできる仕様であることが望ましい。

(2)

施設名		サープラ横浜あそびタウン
所在地		横浜市都筑区中川中央 1-25-1 ノースポート・モール 6 階
施設のイメージ		   
運営団体		株式会社サードプラネット
施設概要		<p>◇ 横浜市営地下鉄センター北駅前に立地する複合商業施設「ノースポート・モール」内に入居しているゲームセンター（床面積：約 3300 m²）。</p> <p>◇ 世界最大級のクレーンゲーム街として、500 台以上のクレーンゲームを設置しており、平日は約 1,000 人/日、休日は約 3,000 人/日の来客がある。</p>
募集内容 （募集テーマ）		1. 効率的な床清掃業務の実施とエンターテインメント性を加えた清掃ロボットの運用
募集テーマ 1	施設運営にあたり解決したいこと	<p>施設ニーズ①：広範なエリアを対象とした効率的な床清掃の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 床面積が 3300 m²と広く、日々の床清掃に要するスタッフの負担や作業工数が大きい。そのため、清掃業務の効率化を図りたい。 <p>施設ニーズ②：清掃業務にエンターテインメント性を加えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲームセンターという施設の特性を踏まえ、清掃ロボットを導入し清掃業務の効率化を図るだけでなく、エンターテインメント性を加え、施設利用者が「面白さ」を体感できるような形で清掃ロボットを運用したい。
	現在の業務の実施形態	<p>上記①の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在、清掃作業を 3 名/日で実施しているが、フロアが広いことに加え、床清掃以外の業務にも対応する必要があるため、床清掃に必ずしも十分な対応がとれていない（営業日 10 時の開店から休憩を挟み、各人実働 6 時間にて対応）。 ✓ 床清掃は業務用掃除機を用いてバキューム清掃を実施している。 ✓ 床清掃以外の業務としては景品等の荷捌きが挙げられる。

		<p>上記②の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在のところ該当する取組はなし。
<p>目指したい施設の姿</p>		<p>施設ニーズ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 清掃ロボットを利用し、広範な施設を効率的に清掃できるようにすることで、スタッフの床清掃に要する工数を 1 時間程度削減する一方で、施設の床清掃実施時間そのものを拡大し清掃品質を高めたい。 ✓ 清掃業務の効率化により空いた時間で、床清掃以外の業務やフロアスタッフへの業務支援により多くの工数を投入することができるようにしたい。 <p>施設ニーズ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 清掃ロボットにエンターテインメント性を加えることで、当施設では清掃業務も「面白くする」というブランディングを図りたい。
<p>ロボットの運用に関する想定</p>		<p>上記①の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 平日の営業時間中、指定した清掃ルートをバキューム清掃し続けたい（ロボットの充電時間を除く）。 ✓ フロアを複数エリアに分け、各エリアに 1 台ずつ配置する複数台運用を実施したい。 <p>上記②の点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 清掃ロボットにエンターテインメント性を加えるため、清掃ロボットの上に台や棚などを設置し、音などで周囲の注目を集める装置（施設側の想定例：ベイビークラッピー。重量約 5kg）を搭載し、平日・休日問わず営業時間にロボットを運用したい。 ✓ 休日は清掃を実施せずに施設の活性化に特化するため、清掃ルートとは異なる販促ルートを別途設定しフロアを巡回させたい。 <p>※現時点では下記フロア案内図中央部の大通りを販促ルートと想定（図中青枠線内）</p> 
<p>留意事項</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 運用台数はロボットのスペックを加味し決定する想定。 ◇ 清掃ロボットの上に台や棚等を設置する改良形式については指定なし（運用要件を充足していれば拘らない）。 ◇ 通信環境についてはフロアに Wi-Fi 環境あり。 ◇ エリアによって床材がタイル、カーペット、混合と異なる

(3)

施設名	鈴廣かまぼこ博物館	
所在地	小田原市風祭 245	
施設のイメージ	<p><博物館の3階フロアのイメージ></p> <p>ワークショップスペース ワークショップ開催がない場合は、お客様の飲食スペースとして解放</p> <p>かまぼこキッチンラボ あげかまぼこ手づくり体験教室を毎日開催。最大で24名×6回/日のお客様がご参加される。</p> <p>かまぼこの科学展示コーナー</p> <p>休憩スペース お客様が手づくりした「あげかまぼこ」をお召し上がりいただくスペース</p>	
運営団体	鈴廣かまぼこ株式会社	
施設概要	<p>◇ 箱根登山鉄道風祭駅の近接エリアで、箱根の玄関口として鈴廣かまぼこ株式会社が運営する「鈴廣かまぼこの里」にある、かまぼこの歴史や職人の技、手づくり体験などができる3階建ての博物館</p>	
募集内容 (募集テーマ)	1. 床清掃業務に要する工数の削減とスタッフの負担軽減	
募集テーマ1	施設運営に あたり解決 したいこと	<p>施設ニーズ：食べこぼしなどによる床の汚れに関する清掃の自動化</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 博物館のなかでも3階のフロア（約840㎡）には、毎日、あげかまぼこ手づくり体験を開催するキッチンラボ、かまぼこの科学を学ぶことができる展示エリアなどがある。 ✓ 3階フロアでは様々な体験型プログラムを開催するとともに、飲食ができるスペースにもなっているため、来館者の食べこぼしなどの汚れが出てしまう。 ✓ スタッフが毎日床清掃（床面は木材フローリング）を行っているが、身体的な負荷が大きいため、清掃ロボットを活用し床清掃の省力化、自動化を図りたい。
	現在の業務 の実施形態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 博物館3階のフロアについて、毎日夕方に、館内スタッフ1名がモップ（カラ拭き）やホウキで掃き掃除（20分程度/回）を行っている。ただし、食べこぼしたかまぼこが乾いたり、靴に踏まれて床にくっついていたりすると、掃き掃除では汚れが取り切れないことがある。 ✓ そのため、週に1回、館内スタッフ1名がメラミンスポンジと中性洗剤を用い、床の汚れをこすり洗い（30分程度/回）をしている。ただし、腰への負担などがあるため、スタッフの身体的な負荷の軽減を図りたい。また、清掃対象箇所が広範にあるため、限られた時間内に

	<p>清掃業務を行うことには困難がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 上記とは別に、年に 2 回、専門の清掃業者が入り薬剤とポリッシャーによる清掃後、床面のワックス掛けなどを実施している。ただし、委託費がかかるため、範囲を限定して清掃を実施してもらっていることから、範囲外の床面清掃については館内スタッフが対応する必要がある。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="499 936 879 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>毎日夕方に、モップによる床清掃を実施。フロア面積が広いので、1名のスタッフで限られた時間内では、清掃が行き届かない。お客様が飲食するスペース(休憩スペース、ワークショップスペース)は、食べこぼしが多く、モップとホウキでの簡易的な清掃では汚れを落としきれない。</p> </div> <div data-bbox="975 936 1351 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>汚れのひどい箇所は、週に1回、メラミンスポンジと中性洗剤でこすり洗うように清掃している。頑固な汚れのため時間がかかり、かがんで作業するため、腰に負担がかかるなど、身体的負荷が大きい。</p> </div> </div>
<p>目指したい施設の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 限られた時間内では行き届かなかった清掃業務に対し、閉館後～翌朝までの時間帯に清掃ロボットを運用することで、3階フロアの床清掃の省力化、自動化を図りたい。 ✓ 食品の手づくり体験を開催する施設であるため、どのエリアも常に衛生的な状態に保たれているようにし、床の食べこぼしや床のヒールマークの汚れなどが、閉館時間中に清掃ロボットにより取り除かれ、翌朝にはキレイな状態になっているようにしたい。 ✓ 館内スタッフが清掃業務に要していた工数や身体的な負荷を削減し、来館者への接客やより付加価値の高い業務に専念できる職場環境の整備につなげていきたい。
<p>ロボットの運用に関する想定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 閉館後の 17:00 以降に、3 階の飲食スペースや展示フロアを中心に清掃ロボットを毎日運用したい。 ✓ 未利用時には 3 階フロアの倉庫に保管し充電予定。 ✓ 清掃ロボットの運用は基本的に木材フローリングの飲食スペース、展示フロアを中心に想定しているが、可能であればキッチンラボの清掃にも活用できると良い。(3 階フロアからキッチンラボに入るためには 5 度程度の傾斜のあるスロープがある。キッチンラボ内の最狭部の通路幅は約 80cm)

		
<p>留意事項</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 3階フロアで清掃ロボットを活用したいエリアの床面に傾斜はないものの、一部、防火扉の段差がある。 ◇ 施設内で Wi-Fi 環境を整備済。清掃ロボットの運用にあたり活用可能